【岡山県】

白石踊800年の伝統を受け継ぐ会

倉敷翠松高校　津山工業高等専門学校　矢掛高校　岡山大安寺中等教育学校
金光学園高校　屋久島おおぞら高校　就実高校　岡山東商業高校

白石踊：800年以上続く供養の踊り

国指定重要無形民俗文化財 ＆ユネスコ無形文化遺産

白石島は岡山県笠岡市にある笠岡諸島の一つで風光明媚な島です。ここ白石島には「白石踊（しらいしおどり）」という国指定重要無形民俗文化財に指定されている伝統文化があります。2022年11月には白石踊を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。
源平水島合戦（1183年）のときに、白石島に流れついた戦死者を島の人たちが供養するために踊り始めたのだそうです。そのため800年以上の歴史があり、連綿と白石島で受け継がれてきました。

手拍子が無く、合掌で祈りを！

盆踊りには大抵、手拍子が付きものですが、白石踊には手拍子がありません。その代わりに手を合わせて合掌のポーズをしています。
死者を弔い、平和を祈る気持ちが白石踊には込められていると言えるでしょう。毎年8月13日～16日は島の盆があります。法要・灯篭流しが行なわれた後に白石踊が踊られます。かつては夜通し踊ったそうです。

白石踊の特徴

白石踊には13種類の踊りが伝わっています。踊り手の年齢や性別によってどの種類を踊るかが決まり、衣装も異なります。
同じリズムに合わせて一つの輪の中に複数の踊りが同時に踊られる形態は全国的にも、とても珍しいそうです。

地元が誇る伝統文化

白石島

定期練習会

後継者不足を乗り越えよう！

少子高齢化の波と休校

伝承の危機

最盛期に2400人だった白石島の人口は、2001年には750人、2023年には400人に減少しています。従来、白石踊は島内で伝承がおこなわれ、白石小学校・中学校では白石踊の練習がされてきました。
ところが、島の過疎・少子高齢化のため、両校は現在は休校中です。
これらの休校が象徴するように、後継者不足で担い手は高齢者という状況が生まれています。

若い世代に広めよう！

①まず自らが白石踊の後継者に
私たちは自分たち自身が白石踊を踊れるように講習会に参加しています。白石島での行事に参加して白石踊の文化を知ろうとしています。
②高校生ができる方法で積極的に広報
新聞投稿・白石踊に関連する観光プランの発表・シンポジウム参加などで白石踊の認知度を高めて若者に興味を持ってもらおうと発信しています。笠岡市役所HPにも活動報告を掲載していただいています。
③他県の高校生と交流したい！
伝統の継承や地域振興の活動をしている全国の高校生に、白石踊を踊りに来ていただきたいです。高校生ボランティア・アワードに参加の皆さんにも修学旅行のときなど、お立ち寄りください。

一緒に踊りましょう！
30分で基本の踊りを踊れるようになれます。

英語教科書に掲載

きっかけは、
「高校生ボランティア・アワード2019」参加

Amity English Communication Ⅱ（開隆堂出版㈱）に私たちの活動が紹介されました。2023年度から使う教科書です。教科書で高校生に白石踊に興味を持ってもらえると嬉しいです。
最初に白石踊の継承活動を始めた先輩方が、自分たちの活動を高校生ボランティア・アワード2019で発表しました。また、その年度には白石踊の踊り手の動きを再現できる『バーチャルアイドル白石舞』のビジネスプランで「第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ」に応募して東京大学の会場でプレゼンしました。
教科書には白石踊や白石舞、先輩方の写真が掲載されているほか、デジタル資料では白石踊と白石舞の動画も見られます。

高校生ボランティア・アワード2019

高校生ビジネスプラン・グランプリ

白石舞 ©Yuuki Wada

私たちの継承活動

①継承

練習会参加

笠岡市中央公民館での定期練習会や倉敷翠松高校での講習会に参加して白石踊を習っています。

ツアー＆お盆

観光客の皆さんを対象に白石踊を披露するツアーが毎年7月に実施されます。 私たちも白石島に行き、一緒に浜辺で踊ります。 昨年は高校生や大学生が白石島内の史跡などをツアー参加者にご案内しました。

昨年の様子は、「私たちの祭り探検 #5 岡山県・笠岡　島の盆・白石踊」で紹介されています。
ぜひ、ご覧ください。

白石島のお盆は、8/13～8/16に開催されます。法要の後には、お盆には帰省中の白石島出身の方々も浜辺で白石踊を踊ります。白石踊の特徴として、島外の人も踊りの輪に招き入れ、一緒に踊る包容力があります。この数年は中止されていましたが、今年こそは、お盆の白石踊を私たちも島の人たちと一緒に踊りたいと思います。

機関誌 高梁川

自治体などが加入する高梁川流域連盟（所在地：倉敷市役所生涯学習課）の機関誌「高梁川」第80号が2022年12月に発刊されました。
特集「青春群像　令和の若者たち」に、白石踊関係では4人が寄稿しています。

p75	白石踊の継承活動	渡辺 陽
p88	人や文化の架け橋に	中藤浩文
p90	源平水島合戦	尾崎 光
P108	若者群像	三宅範行

②広報

笠岡市HP掲載

笠岡市役所生涯学習課HPに毎月の定期練習会の様子を掲載いただいています。
私たちの継承活動の様子や白石踊をテーマにした発表や受賞については、不定期で「高校生会員による活動報告」として掲載いただいています。
（高校生が文案を作り、白石踊会と笠岡市役所の校閲を経て掲載）

新聞投稿

私たちは白石踊に関する活動ごとに気付いたことや感動したことを文章にして新聞に投稿しています。
昨年度は7人の文章が掲載されました。3つ紹介します。

今年度、倉敷翠松高校では、白石踊の継承など白石島への貢献活動をしようと15人が活動を始めました。
まずは自分たちで白石島や白石踊について調べ学習を進めました。そして6月13日、白石踊会笠岡支部の会員の方々に学校に来ていただき、白石踊の指導をうけることとなりました。白石踊には13種類ものさまざまな踊りがあり、その中の「ブラブラ踊」「男踊」「笠踊」「月見踊」を教えてただき練習しました。その他にも、扇子を使った華麗な踊りも見せていただくことができました。
白石踊を実際に見ることは活動を通して初めてだったので、とても不安や緊張がありましたが、講師の方々の丁寧な指導により、伝統や歴史を学びつつ、魅力や楽しさを実感でき、とても新鮮な体験になりました。今後も活動していく中で、白石島や白石踊をさらに学び、少しでも多くの人々に文化や歴史を知ってもらい、継承していくことができるようにしていきたいです。

山陽新聞（2022.7.20）掲載

今年度から学校の授業で白石島について学んでいます。7月に白石踊をメインとする観光ツアーに参加し、今回2回目の白石島に行きました。7月は、島独特の穏やかな空気と素晴らしい景色を楽しませてもらいました。今回は福山の会社の企画で花火大会が開催されると聞き、白石島の違う顔が見られるのではと、先生、友人と再び訪れました。
今回の花火大会では、7月に見た白石島とは一変して華やかに彩られた白石島を見ることができました。思い出の一つになるとともに、白石島への興味が一層深まりました。頻繁に訪れることはできませんが、他にどんなことをしているのか、さらに白石島について調べていこうと思いました。さらに、見るだけではなく、島の特産物などについても知り、買ってみたいと思いました。
知れば知るほど様々な魅力で楽しませてくれる白石島。その素晴らしさを家族、多くの友人や世間に伝え、共に楽しみながら、島の発展に関わっていきたいです。

山陽新聞（2022.11.19）掲載

私は倉敷翠松高校の探究活動の一環で白石踊の研究と継承活動をしています。今回は白石踊がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを祝う式典が白石島であり参加しました。
白石島内外から多くの人が集まりました。始めに白石島の方や白石島出身の方の白石踊が披露されました。一つ一つが堂々としていて、とても迫力があり感動しました。次に私たちも輪の中に入り、今まで練習してきた踊りがユネスコ無形文化遺産に登録されたことに喜びを感じながら一緒に踊りました。
白石島はとても穏やかで心が落ち着く島です。式典前に山に登ってみました。港から約30分ほどで登れる山には山頂に大きな岩があります。岩の上に立つと白石島が一望できます。高いので少し怖かったですが、とても達成感を感じられます。白石島の魅力は、まだ自分が気づいていないところもたくさんあったので、今後も白石島に行き、ごみ拾いなどで少しでも島に貢献し、白石踊を広めていきたいと思います。

山陽新聞（2022.12.28）掲載

③環境整備

トレッキングコース

白石島には尾根伝いにトレッキングコースがあり、奇岩や巨石を楽しめるほか、瀬戸内海の多島美も眺望できます。

トレッキングコースをふさぐ木や枝を片付ける活動をしました。

④交流人口

観光ツアー企画と実現

高校生が作った白石踊体験ツアー

岡山県倉敷市では昔、源平の水島合戦と藤戸合戦という戦いがありました。寿永二年閏十月一日（1183 年 11 月 17 日）、水島合戦の最中、太陽が陰って金環日食が起こりました。事前に日食の発生を知っていた平家軍が、日食の混乱に乗じて勝利を勝ち取ったという、天文現象を利用した世にも珍しい戦いでした。この水島合戦の戦死者を弔ったことが白石踊の起源とされています。また、藤戸合戦は、能「藤戸」に描かれる、口封じのために殺された漁師と子を思う母親の悲劇の物語で有名です。

先輩は2020年に藤戸合戦をモチーフにした観光プランを立案し、岡山イノベーションコンテストで特別賞を受賞したことで、実際に2021年には旅行会社のツアーになりました。 次の先輩は2021年に水島合戦に発生した日食をプラネタリウムで再現する観光プランを立案し、高校生みんなの夢アワード2でグランプリ、岡山イノベーションコンテストで特別賞、高校生ビジネスプラン・グランプリのセミファイナリスト賞を受賞しました。2022年にはツアー化され参加したお客様は白石島で白石踊を習って帰られました。

2023年秋にも実施予定

チャレンジと地域の支え

①NHK歴史番組で紹介

白石踊は源平水島合戦の戦死者を島民が弔ったことが起源だと伝えられています。水島合戦の最中、太陽が陰って金環日食が起こりました。高校生メンバーがライフパーク倉敷科学センターの学芸員さんに相談の結果、プラネタリウムで金環日食を体感し、歴史と天文の両方が学べる番組を作っていただけました。
高校生が発案した、水島合戦の日食をプラネタリウムで再現する映像は、取材を受け、NHKの歴史番組で放送されました。
NHKオンデマンドで現在、配信中です。
・「決戦！源平の戦い」（BSプレミアム・2022年4月9日放送）
・歴史探偵「源平合戦　壇の浦の戦い」（NHK総合・2022年5月4日放送）

②地元の財団のご支援

私たちは白石踊会笠岡支部に所属しています。高校生がアイデアを活かして活動できるようにと、白石踊会は助成金の申請をしてくださっています。
公益財団法人福武教育文化振興財団様には、白石踊会が平成23年度(2011)に福武文化奨励賞を受賞して以来、応援していただいており、2022年度～2024年度の教育文化活動助成（応募）の3ヶ年継続助成にも採択されました。

福武教育文化振興財団

全国の高校生と交流したい！

私たちは全国の高校生に白石踊を体験してもらいたい！と願っています。
修学旅行の途中、コンテストやシンポジウムの行きかえりに、ぜひお立ち寄りください。
一緒に踊りましょう。 ご連絡をお待ちしています！

国指定重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産を
身につけませんか？

Shall we 白石踊？

定期練習会での集合写真

2018年８月、島の盆で白石踊の輪に招き入れられた一人の男子高校生が自分が後継者になろうと思って始めた活動が、現在は８高校+３中学校の21人という規模になり活動しています。踊りを習うという基本の活動の他に、白石踊を多くの人に知ってもらうためにコンテストやシンポジウムに参加して発表の機会を得たり、新聞投稿をしたりしています。
コロナ禍で練習会があまり開催できなかった時期もありましたが、その間に先輩方が考案した観光プランの実現、YouTube動画や機関誌への寄稿など広報面で形になったことを嬉しく思います。
ユネスコ無形文化遺産に登録されたことで、地元も盛り上がっています。全国の高校生のみなさんが白石踊に興味を持ち白石島を訪れてくださることを願っています。私たちもこれからも活動をつないでいきたいと思います。